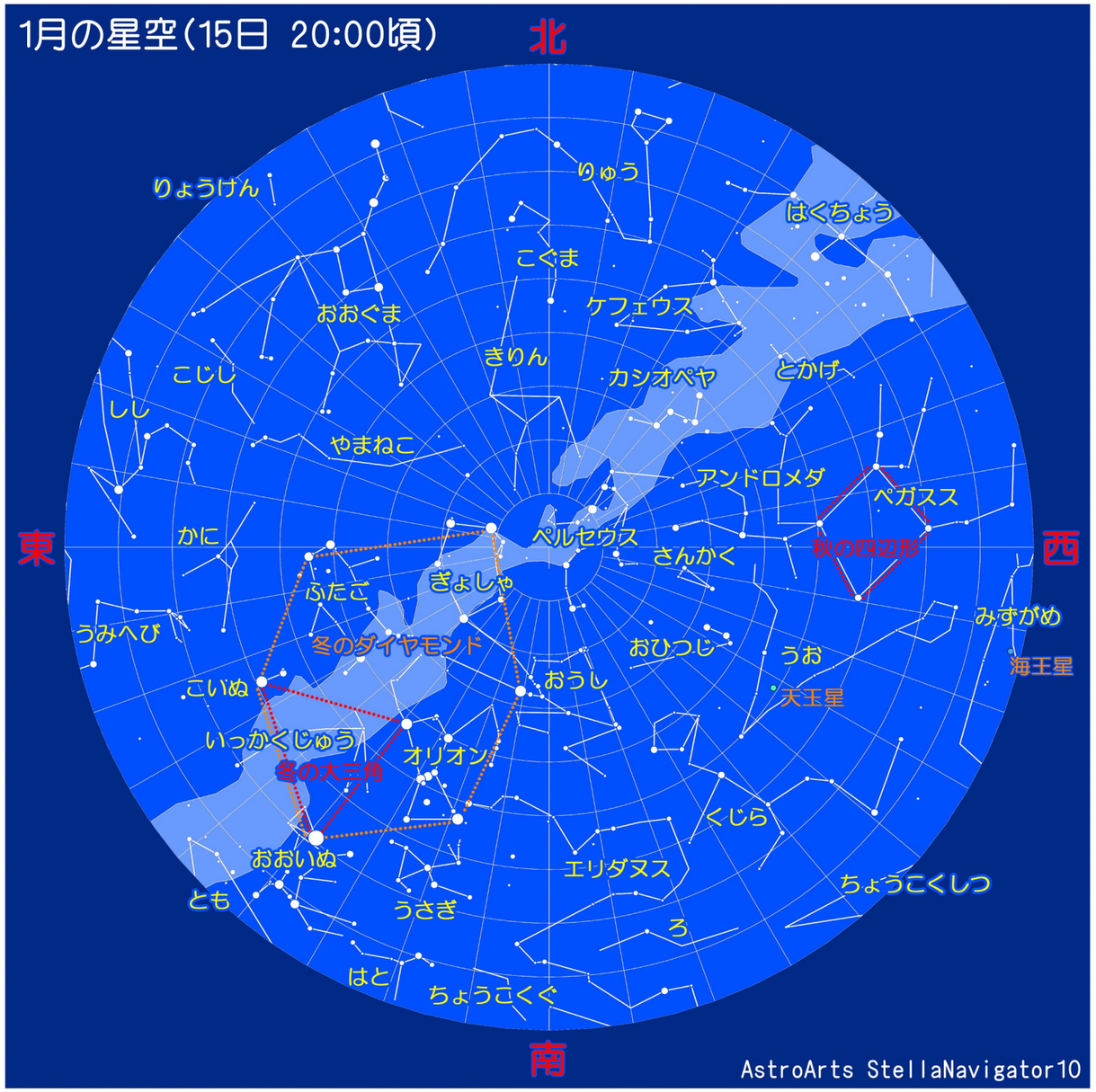
銀河の森天文台
2018年1月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M41（散開星団）

今年は戌（いぬ）年という事で、おおいぬ座の散開星団M41をイチオシ天体として紹介します。M41は全天で一番明るい星シリウスの約4度南に位置しているため、とても簡単に見つけることができます。7倍程度の双眼鏡では、シリウスとM41を同一視野で見ることができます。散開星団としては珍しく、黄色い星の多い星団で、中心部にはX型の星列が見られます。

距離：2470光年

M41

月

		出	没
2日	●満月	16:19	06:37
9日	◐下弦	--:--	11:22
17日	●新月	06:41	16:30
25日	◐上弦	10:58	--:--
31日	●満月	16:11	00:14

天文台から月を見ることができるのは19～31日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

皆既月食

1月31日の夜、月が地球の影に隠される皆既月食が起こります。皆既月食の赤銅色の月を楽しみましょう。

食の始め　20：48
皆既始め　21：51
皆既最大　22：30
皆既終り　23：08
食の終り　00：12

※好天時は23:30まで開館時間延長

天王星

太陽系の外側から２番目の惑星、天王星がうお座に見えています。淡いグリーン色が特徴で、小さく見えますが地球の４倍の直径があります。

太陽からの距離：約29億km

M42（散光星雲）

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの４つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

M35（散開星団）

ふたご座のお兄さんの足元に位置する、明るく大きな散開星団です。約500個の星からなり、15cm双眼鏡では、微光星が密集した見事な姿を見ることが出来ます。

距離：約2850光年

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

リゲル（重星）

オリオン座の左足に位置する、青白く輝く1等星で青色超巨星と呼ばれる大きく明るい恒星です。

また、リゲルは重星で、望遠鏡では、6等の伴星が寄り添っている様子を見ることができます。

距離：約863光年

ちょっとマニア

・ミラ

くじら座のｏ（オミクロン）星のミラは、最も有名な脈動型変光星です。約332日の周期で2～10等まで明るさを変化させます。今年は1月中旬と12月中旬の２回、極大光度になると予想されています。

距離：約326光年

その他おすすめ

- M45（散開星団）
- M76（惑星状星雲）
- NGC1535（惑星状星雲）
- NGC2392（惑星状星雲）
- ベテルギウス（恒星）
- うさぎ座Ｒ星（恒星）
- アルマク（重星）
- カストル（重星）

1・2月の銀河の森天文台カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

□ 休館日